



そなえ防災

あきる野市防災・安心地域委員会

令和6年3月
(第23号)
発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長 山崎 勇

能登半島地震について

令和6年1月1日16時10分、石川県能登半島地方を震源地とした最大震度7の地震が発生しました。この地震では、多くの死傷者や家屋の被害が出ております。

現在も地域によっては、断水や停電が継続しており、被災地では自衛隊をはじめとした、各団体や自主防災組織が活動し、災害対応にあたっています。



※国土交通省TEC-FORCE（テックフォース）撮影

自分の身は自分で守る！

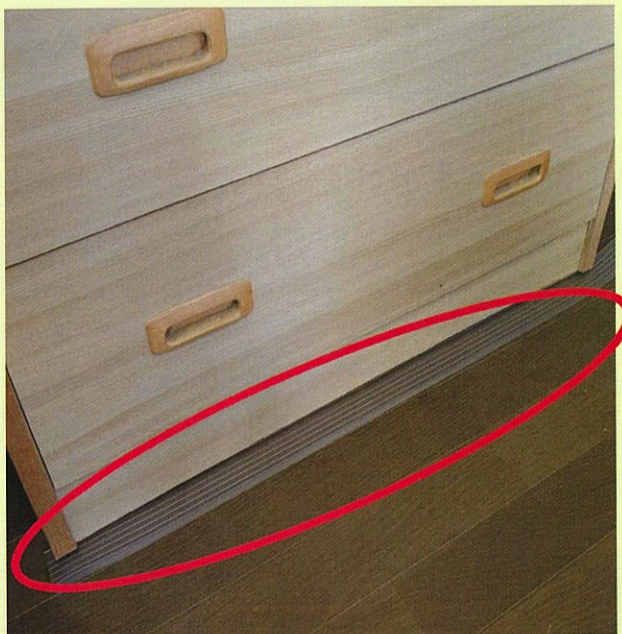
災害へのそなえには、自分で守る「自助」、地域の人々で守る「共助」、公的機関が守る「公助」がありますが、「公助」には限界があり、大規模災害時には、支援等が行き届かないことが考えられます。

まずは地震による被害を最小限に抑えられるよう、平常時から備えましょう。

裏面の「家具類の転倒・落下・移動防止対策」を参考に、確認してみてください。

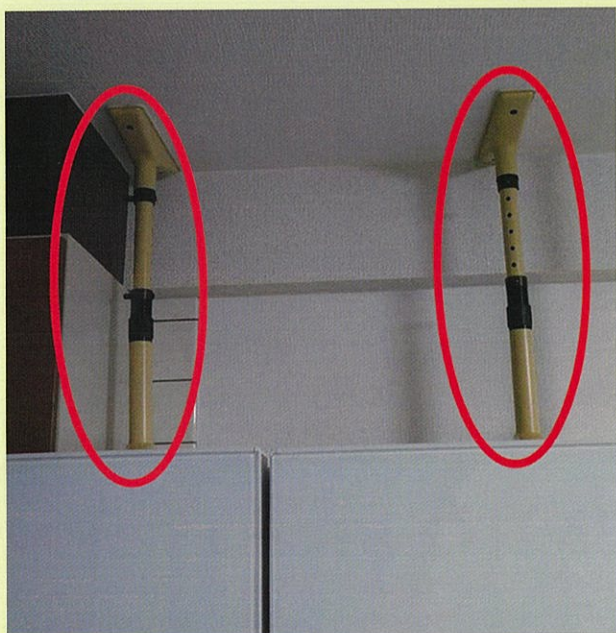
家具類の転倒・落下・移動防止対策

家具の転倒防止



家具や家電の転倒防止には様々な方法があります。床とタンスの間にすべり止めストッパーを置いたり、ポール式器具で、天井とタンスの間に突っ張り棒を挟むと効果的です。

冷蔵庫の転倒防止対策



冷蔵庫は、数十キロ～100キロくらいの重さがあります。大きな地震発災時に転倒し、下敷きになった際には大けが等に繋がります。天井からの突っ張り棒などを用いて転倒対策をしておきましょう。

扉が開かない工夫



食器棚等は、中の食器が飛び出さないよう、扉が勝手に開かないためのキャビネットストッパーを取り付けたり、ガラス飛散防止フィルムを貼ったりしておきましょう。

テレビの転倒防止対策



テレビは転倒すると、液晶画面が破損し、避難する際に怪我をする恐れがあります。テレビと台の間にすべり止めシートを敷き、転倒防止対策をしておきましょう。